

# 球磨村 おがわ瓦版

令和2年9月15日  
編集発行 宮原 修  
090-9585-8894

## 県南豪雨災害から二ヶ月

### 球磨村、仮設住宅建設・入居進む

一ヶ月経った8月4日、球磨村運動公園多目的広場に33戸の仮設住宅が完成し、入居が開始された。

球磨村は、引き続き球磨村総合グラウンドと錦町に仮設住宅の建設を進め、災害復旧に務めている。

豪雨から二ヶ月経った現在の各地域や施設の状況を追ってみた。



運動公園多目的広場に建設された仮設住宅

## 小川地区

小川地区(27世帯)は、茶屋、舟戸地区より高台に位置しているが3軒が浸水した。また急傾斜地域であるため二カ所が豪雨による土砂崩れも起きた。現在、小川班は5世帯(11人)が避難及び転出している。

小川班では、8月末に臨時常会が開かれた。常会では「今後の小川班の行事・活動」等について話し合いが行われた。



土砂崩れで全壊した家屋

## 茶屋・舟戸地区

茶地区(28世帯)は大半が浸水し全半壊した。現在は国道219号線より東側の3世帯になった。また舟戸地区は28世帯中、18世帯が浸水し全半壊した。

両地区の今後の班としての公民館活動等が心配される。



全半壊した茶屋・舟戸地区

## 千寿園

特別養護老人ホーム千寿園は一階部分が冠水し、職員、避難支援協力隊の地域住民らが必要の救助するも、利用者14人が亡くなった。

8月3日には千寿園の門前に献花台が設置され、職員、遺族、地域住民らが献花し冥福を祈った。小規模多機能型居宅介護事業所アットホームどんぐり、千寿園より高台にあつたため被害はなかった。

7月28日、千寿園とアットホームどんぐりは今後運営していく見通しが立たないため、事業の継続を断念した。



閉鎖した千寿園

## 渡小学校

コロナ禍で6月1日より、ようやく再開したばかりの渡小学校。今回の豪雨でまた休校。学校は、隣接する千寿園と同様に校舎の1階部分が冠水し、学校は壊滅的な被害を受けた。現在、一勝地小学校の運動場に仮設校舎が



渡 駅



渡郵便局



渡駐在所

## 渡駅・渡郵便局・渡駐在所

島田地区に所在する渡駅・渡郵便局・渡駐在所も濁流にのまれ被災した。渡駅舎内にあつた球磨村商工会議所は、球磨村役場隣のコミュニティーセンター清流館へ移転した。渡郵便局は全壊。まだ再開設されるか見通しは立っていない。白石将司局長は、現在相村川辺の川郵便局にて業務。渡駐在所も全壊。渡辺巡查駐在所長は、一勝地駐在所と共に村内の巡回業務等にあつている。



一勝地小の運動場に建設された仮設校舎



被災した渡小学校

建てられ、8月3日より再々開した。渡小学校(一勝地小学校校地内)を犬童裕美校長より仮設の教室の案内していただいた。被災した児童たちも各避難所から、スクールバスで送迎。笑顔で元気な姿が戻っていた。